



柵池高原スキー場

柵池観光開発株式会社 索道安全報告書

2022年度版



この安全報告書は、当社における索道輸送の安全の確保のための取り組みや安全の実態をまとめたものです。
お読みいただき、ご意見・感想をお寄せください

1 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解誠にありがとうございます。
当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、広くご理解をいただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見をお待ちしております。

なお当社所有の索道施設は次の4本です。

梶池中央トリプルリフト

梶池第1ペアリフト

チャンピオンクワッドリフト

丸山第1クワッドリフト

梶池観光開発株式会社 代表取締役社長 栗田 優

2 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

- (1) 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令および運転取扱細則、整備細則をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いに努めます。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全かつ適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 安全目標

2022年度の安全目標は次のとおりです。

区 分	項 目	内 容
定量的な 目 標	施設の不具合による事故 (脱索・搬器衝突等)	乗客の死者・重傷者を伴う事故 を 発生させない
	人身障害事故	事故を発生させない
	運転阻害事故	事故を発生させない
	労働災害事故	係員の死者・重傷者を伴う事故 を 発生させない

3 事故等の発生状況とその再発防止策

(1) 索道人身障害事故

2021年度において人身障害事故は発生しておりません。
社内では引き続き安全の確保について確認をいたしました。

(2) 災害(地震・暴風雪・なだれ等)

2021年度において災害による運行停止はありません。
なお、安全確保のため次のとおり運休いたしました。

- ・ 強風のため索道4本 延べ20時間運行を停止しました。
- ・ 雷雲の接近のための運休なし

安全確保のための運休についてはお客様のご理解とご協力をお願いいたします。

(3) インシデント(事故に至る恐れのある事態)

(4) 2021年度、インシデント等はありませんでした。

(5) 行政指導等

2021年度、国土交通省の保安監査がありました。業務改善命令・指導等はありませんでした。

4 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 人材教育

当社では、輸送やお客様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設および取り扱いについての安全教育を実施しております。また万一の事故のために従業員全員に救助方法や補助原動機の取り扱いの指導を行いました。

(2) 緊急時対応訓練

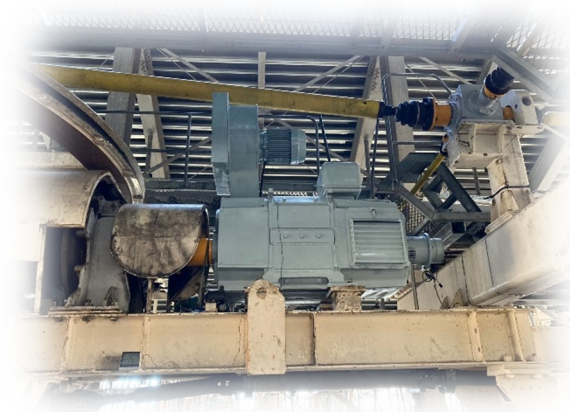
また2021年度は北アルプス広域消防と連携し、大北地区合同で救助訓練を実施いたしました。

(3) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、営業収入の10%をめどに施設の修繕費に充てています。

2022年度の主な整備は次のとおりです。

- | | |
|-------------|--|
| ・中央トリプル | 支柱駅舎内索輪選択交換
速度同調用Vベルト選択交換
セーフティーバー調整 |
| ・チャンピオンクウッド | 原動、緊張滑車ゴムライナー交換
索輪選択交換 |
| ・丸山第一クウッド | 速度同調用Vベルト選択交換
駅舎内索輪交換
電動機オーバーホール |
| ・柵池第1ペア | グリスアップ |

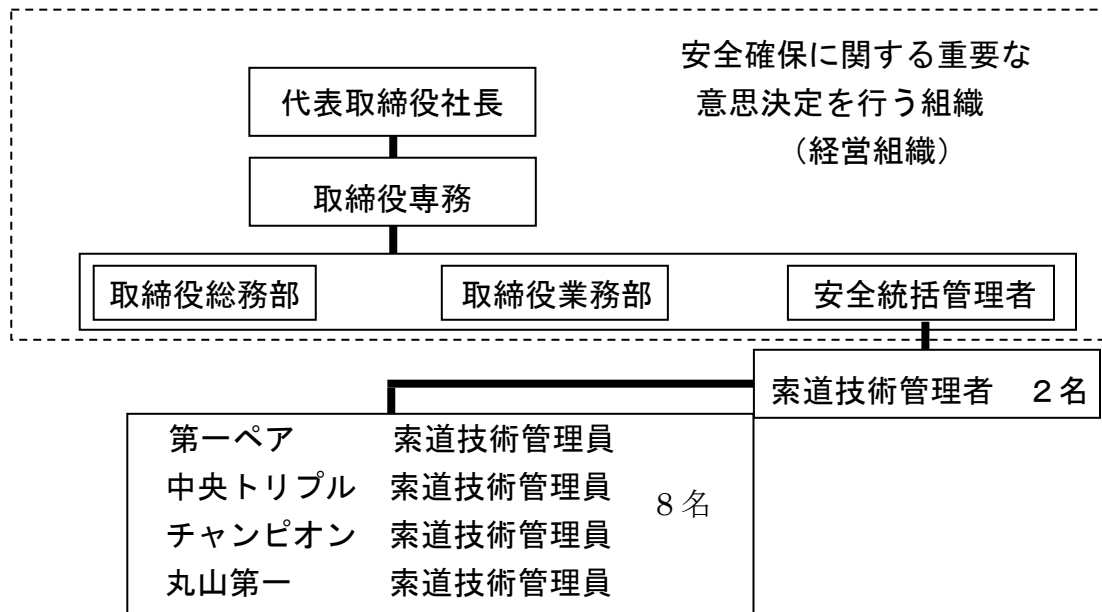


5 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

また2005年度よりヒヤリ・ハット報告制度を導入し、社長以下全員が問題を共有し、認識して日々の業務にフィードバックさせています。

当社の組織図は次のとおりです。



安全統括管理者：索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する

索道技術管理者：索道全般の運行の管理、索道施設の保守管理その他係員の技術上および安全上の教育に関する業務を管理する

索道技術管理員：索道技術管理者の指揮の下、担当索道の運行を管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を管理する



6 利用者の皆様の連携とお願い

(1) 当社は、お客様のご期待に応えられるよう努めております。

皆様から頂戴した貴重なご意見を真摯に受け止め信頼される索道を作るために役立てています。

お客様からの声をカタチにした事例をご紹介します。



丸山第一リフトでリフト待ちで並んでいると、屋根から雪が少し落ちてくるようで怖いな。。



屋根にあおりを付けてリフト待ちの場所には落ちないように改善いたしました。安心してご利用ください。

(2) 当社からお客様へのお願い

1. リフトの乗り方に慣れないお客様は、係員にその事を申し出てください。係りがお手伝いさせていただきます。
2. 柵池は中部山岳国立公園内にあります。空き缶・タバコその他携行品をリフトから投げ捨てないでください。生態系に悪影響を及ぼします。
3. 搬器から飛び降りたり搬器を揺らしたりすることは重大な事故につながり、ご自身はもとより他のお客様を危険にさらすことになります。
4. 衣服・携行品・髪の毛などが搬器に巻きつかないようにしてください。思わぬ結果になることがあります。
5. 安全輸送の確保のため係がお客様に指示することがありますが、なにとぞご理解ください。
- 6.

7 ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社への取り組みに対するご意見をお待ちしております。専用入力フォームからメール送信をお願いいたします。

なお、安全報告書以外についてのご意見・ご感想などは下記連絡先へお願い致します。

柵池観光開発株式会社

TEL 0261-83-2034

FAX 0261-83-2076

株式会社 白 馬 館

索道安全報告書 (令和 4 年度版)

令和 5 年 7 月 1 日発行



利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社は経営理念の第一に安全確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき輸送の安全の実態について自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

株式会社 白馬館 代表取締役社長 松沢 貞一

1. 基本方針と安全目標

a. 基本方針

当社の経営理念の第一は安全確保です。

安全基本方針を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

1. 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（本規則含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともに、これを遵守し厳正・忠実に職務を遂行します。
3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
4. 職務の実施にあたり推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
5. 事故・災害が発生した時は、人命救助を最優先に行動し速やかに安全適切な処置を取ります。
6. 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
7. 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

b. 安全目標

第 23 年次索道輸送安全目標（令和 3 年より令和 5 年）は次表のとおりです。今年度は事故及び人身障害はありません。引き続き目標達成に向けて取り組みます。

区 分	項 目	内 容
定期的な目標	設備不具合による事故	乗客の死亡を伴う事故を発生させない
	人身傷害事故	3 年間の発生件数を 0 件とする

2. 事故等の発生状況とその再発防止措置

- 索道運転事故（索道人身障害事故）

令和4年度、索道運転事故はありません。

- 災害（地震や暴風雨、豪雨など）

令和4年度、災害による運行停止はありません。なお、安全確保のため強風等の影響により運行停止した日がありました。

- インシデント（事故の予兆）

令和4年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

- 行政指導

令和4年度、行政指導はありません。

3. 輸送の安全のための取組み

a. 人材教育

当社では、輸送や皆様の安全に役立つようシーズン営業開始前に施設及び取扱いについて安全教育を実施しています。

b. 緊急時対応訓練

毎年、シーズン前に職員一同にて救助訓練を実施しています。



c. 安全のための投資と支出

令和4年度は安全維持・向上のため、スカイライナーⅡ・スカイライナーⅢ・ロマンスリフトにて修繕を行いました。

□ スカイライナーⅡ 索受け装置修正

□ スカイライナーⅢ 全握索機の分解整備

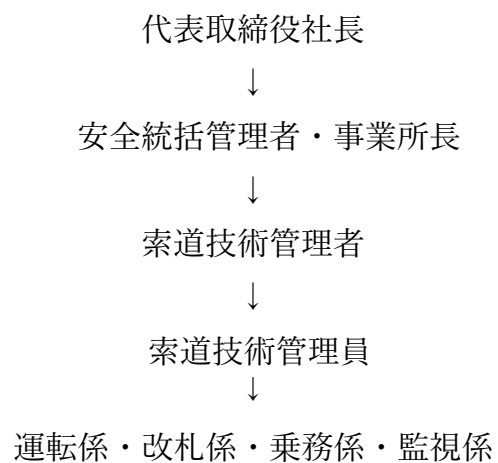
□ ロマンスリフト 山頂折り返し滑車メンテナンス

d. 整備

シーズンオフに細部にわたり点検整備を行っております。



- ・ 社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にします。



スカイライナーⅡ ・スカイライナーⅢ
ロマンスリフト

役職	責 務
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道全般の運行の管理、索道施設の保守の管理、
	その他の技術上及び係員教育等の事項に関する業務を管理する
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行を管理、施設の保守の管理、
	その他の技術上の事項に関する業務を管理する

５．利用者の皆様へのお願い

•リフト乗車時の注意事項

1. 乗り方に慣れないお客様は係員にお申し出下さい
2. 空き缶・たばこの吸殻・その他物品をご乗車中のリフトから投げ捨てないで下さい
3. 搬器から飛び降りたり搬器を揺らさないで下さい
4. 衣服・携帯品・髪の毛などが施設に巻きつかないように注意して下さい
5. 改札後は係員の指示に従って下さい

6. ご連絡先

•〒399-9422

長野県北安曇郡小谷村千国乙12840-1

株式会社 白馬館

拇池事業所 お客様係

TEL.0261-83-2112 FAX.0261-83-2744